

市民協働かわら版

No.21

発行：泉南市総合政策部政策推進課
〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一―一
TEL：〇七二―四八三―〇〇〇四

(平成二十八年二月二十九日発行)

二月二十四日(水)に平成二十七年第十一回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市埋蔵文化財センターで開催され、十五名(市民十一名、職員四名)の参加でサロンが始まりました。【共催：泉南市ABC委員会】

今回のサロンでは、「泉南市には観光資源や自然が多いので、もっと外に向けてアピールするべきだ」、「関空からの外国人観光客に泉南市を訪問してもらう方法はないか」など、泉南市の観光へ

市民協働啓発講座を開催しました

一月十六日(土)、一月十日(水)、二月二十日(土)に市民協働啓発講座を開催しました。

第一講座では、慶應SDM・小布施町ソーシャルデザインセンター研究員である大宮透さんから「市民や若者などが関わる協働のまちづくり」



小布施町で仕掛けたこと」のテーマでお話をさせていただきました。

第二講座では、近畿大学教授で工学博士である久隆浩さんから「ネットワークづくり」のテーマでお話をさせていただきました。



第三講座では、昨年に引き続き、矢野大和さんから「家族の絆・親子の絆・地域の絆」のテーマでお話をさせていただきました。

この講座も市民協働とは何かなど、市民と行政との協働によるまちづくりについて、楽しく学びたい講座となっています。



受講された皆さんは、住みやすいまちづくりとは何かを考えながら、講師の方々のお話を真剣な表情で熱心に聞いていました。

の取組についての話し合いが行われました。

また、「市民同士や団体同士がつながることで良いまちづくりができる」、「市民も行政も横のつながりが大事であり、連携していくことが必要だ」、「市民の役割、行政の役割が決まれば住みやすいまちになる」など、ネットワークづくりについての話し合いも行われました。

さらには、「このサロンでの皆さんの市民の意見について、行政が施策の実現に向けて取り組んでもらえればと思う」、「泉南市では現在、インバウンド対策など、外国に向けてのPR活動に積極的に取り組んでいる」といった意見の発表もありました。

サロンの後半では、「泉南市の公共施設等の現状と今後の取り組み」について、市職員が説明したところ、「市内の老人集会場は、広く市民が利用できるようにするべきだ」、「もっと市民に分かりやすいように、また考えやすいように具体的な案を示して説明してほしい」などの意見がありました。

また、「サロンで話し合うテーマを絞って内容をわかりやすくした方が、サロンへの参加者が増えるのでは」といった提案もありました。

出席者の中には、まちづくりについての他市の取組を熱心に調査・研究している方がおられ、まとめた資料に基づき、調査・研究内容を発表していただきました。

次回は三月二十三日(水)午後一時三十分から泉南市立東和苑老人集会場で開催する予定です。ので、多くの市民の皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

市民協働啓発講座はとても勉強になったサロン。

